

日本の農業を元気にしたい

(株)江口農園 江口竜左

人・モノ・カネがそろった企業にする

- 子どもや若い20代の大学生などが目指したい職業にする
- 「日本の農業を元気にする」ビジョン
- ビジョンを達成するための実績
10年後までに売上10億円を達成する

僕は農業が大好きだったから就農した



短大を卒業して帰ってきたら. . .

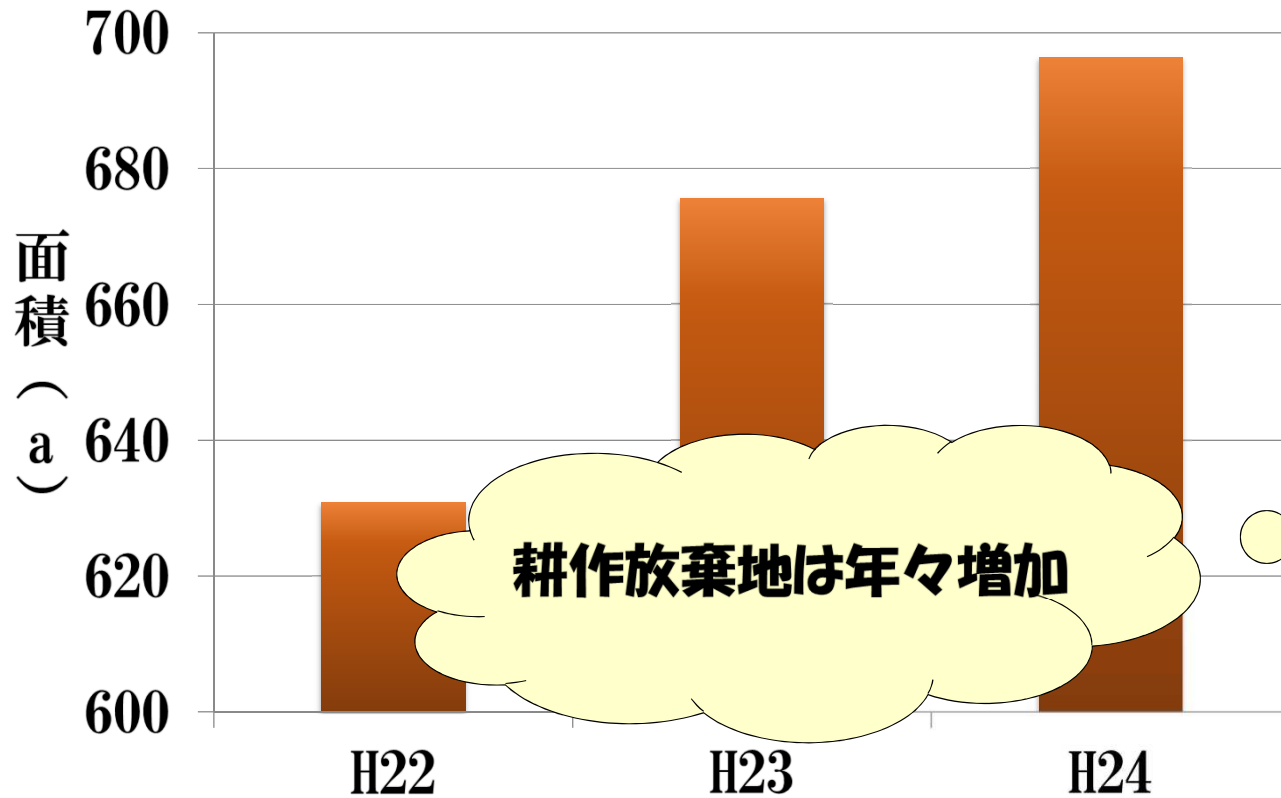
地元の人からよー帰ってきたね

その意味は、

「こんなに苦勞する農業を、地元のために良く職業として選んでくれたね」という意味だった

深刻な耕作放棄地問題

武雄市の耕作放棄地面積推移



(武雄市農業委員会調べ)



農業の担い手がいない



農林水産省の調べによると
平成28年度の農家平均年齢67歳

農家のイメージとは

3 K

- キツイ
 - 汚い
 - 危険
-
- 稼げない

新規の農家が増えるためには？

新2K

- カッコよくて
- 稼げる

農家が楽しそうに笑顔なら
農家は増える

僕がカッコよくて
稼げる農家を実現する

ビジョンを達成するために

- 農業は農産物というモノを売り、利益をあげる
ならば

「モノ＝ヒット商品」

これが成り立ってないと利益はあげれない

- 人・カネが先ではない
この順番を間違えない事が重要

落とし穴

- パクチーという高単価ブランド品の栽培から始めてはないない
- 栽培は1人では上達しにくい
- 師匠、競争相手、サポート役（普及改良センター、自治体）
- JAが運営している部会の力が不可欠

キュウリからパクチーという必勝法

- 佐賀みどりだけで、50人を超える。佐賀全体を含むと100人
- 師匠は必ず見つかる
- 競争相手、先輩、同期、後輩
- JAが示す数値目標。
※10a当たり45tなど

高単価ブランド野菜

- 自社の看板野菜へ
- 栽培スキルを習得すればどんな野菜でも作りこなせる

経営戦略

- 多くの品目を試験的に多く栽培して、リスクを減らす
 - 先に売り先の確保。バイヤー、飲食店のシェフと関係構築を！
 - キュウリなら浅漬け、ぬか漬け。ニンジンならピクルス
- ※需要が高い加工品のみ絞って市場を広くする

江口農園パクチー 6年目に突入

カッコいい農家



稼げる農家を実現

- ・キュウリとパクチー2本柱で経営安定

- ・売り上げ8500万円

※平成29年度 農家平均売上802万円

まだまだ課題は山積み

- ・ 組織化
- ・ 安定した増収のためヒット商品を増やす

新事業 エスニック王国プロジェクト



エスニック王国プロジェクト

- エスニックの食文化を広めるために
日本エスニックラボを設立
エスニックの大きな波を作り出す

- 2022年4月1日までに会員1万人を目指す
- エスニック野菜のみで1億円の売り上げ
- 都市圏で大掛かりなイベント開催。
日本とアジア諸国の親善のためのかけ橋を

農家のホープから中小企業のスターに

- 子どもや若い20代の大学生などが目指したい職業にする
- 「日本の農業を元気にする」というビジョン
- ビジョンを達成するための実績
10年後までに売上10億円を達成する

日本の農業を元気にしたい
江口農園は成長を続けます

農福連携の取り組み

就労支援センター菜菜 江口竜左

菜菜を立ち上げた想い

- 障害のお子さんをお持ちになる親戚との会話がきっかけ
- 衣食住が整った生活を自分の子どもにしてほしい
農業なら実現できると父は思いついた

農福連携が抱える課題

- 就労支援センターは、野菜作りのプロフェッショナルである農家と競わないといけない
- 農家が福祉のプロフェッショナルに近づかないといけない

現実はどうだろうか？

- 農業と就労支援センター、両方高いレベルを実現できている
農福連携の取り組みは全国でどのくらいある？

農家の師匠をつくる



優秀な支援センターの方を師匠に



農福連携で農業も福祉も元気になる

